

< 地場農産物の加工・販売を実施している事例 >

笑顔と元気あふれる営農体制の確立を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	新潟県妙高市 坂口新田			
協定面積 15.2ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 320万円	個人配分			45%
	共同取組活動 (55%)	多目的機能増進活動費		20%
		水路・農道の管理及び補修費		15%
		新規就農者の確保費用		10%
		生産性向上に係る費用		5%
	役員手当・事務費		5%	
協定参加者	農業者24人、農業生産法人1、非農業者15人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、妙高山の裾野に位置する40戸あまりの集落で、準高冷地に農地が広がる豪雪地域である。農地は基盤整備が行われておらず、平均区画8aと生産性が低いため、高齢化と併せ、農地の荒廃が懸念されていた。その中で、地域ぐるみで農地の荒廃防止を進めようと、平成14年度から本制度に取り組み、農地保全活動等を行ってきた。

平成19年度には、非農家と連携した多面的機能の増進活動や、地場産農産物等の加工・販売を目指して協定変更を行い、交付単価もアップした。

3. 取組の内容

平成19年3月に設立した農事組合法人「坂口げんき農場」を中心に、高付加価値型農業に取り組んでいる。地元でとれた野菜を使い、だいこんのたくあん漬けや野沢菜漬け等に加工し、集落内にある「妙高山麓直売センターとまと」で販売している。

また、都市住民との交流や顧客拡大の取り組みとして、地元宿泊業者と連携した田植えや稲刈りなどの農業体験や、「妙高山麓直売センターとまと」と連携した交流イベントなどを開催している。さらに、滞在型市民農園「クラインガルテン妙高」(平成19年度整備)の利用者への農業指導も行っている。



協定農用地で取れただいこん



都会からの農業体験の受入

[集落の将来像]

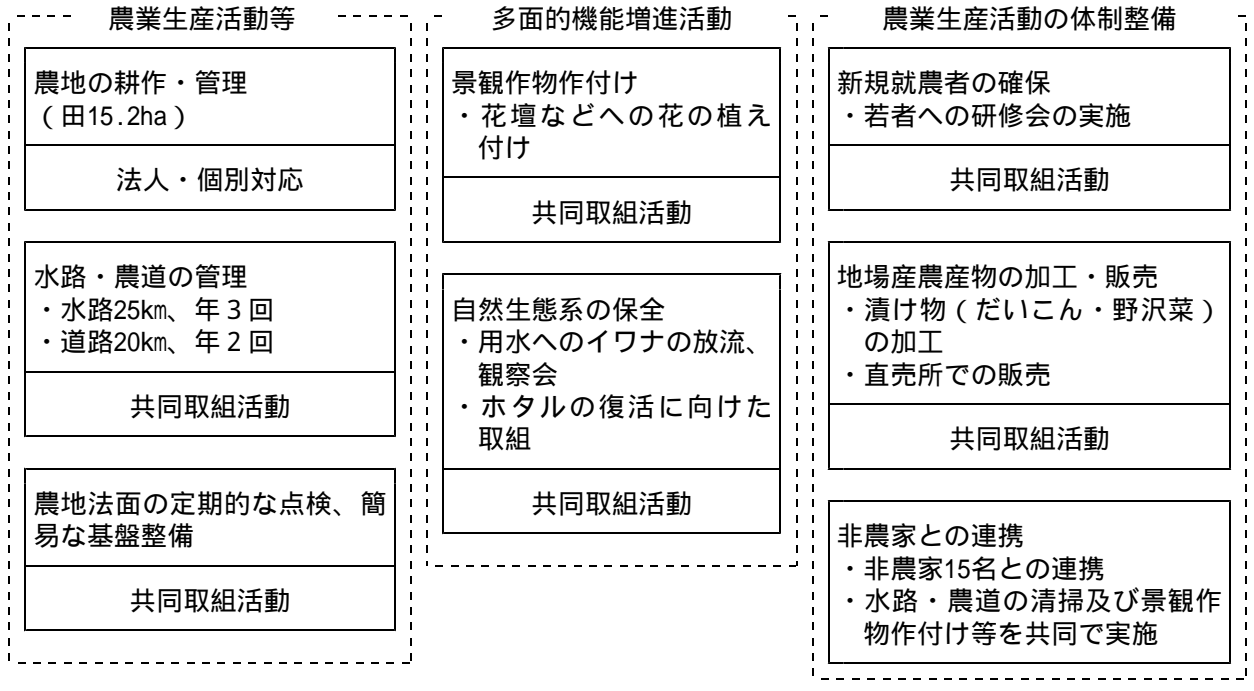
坂口げんき農場を中核として、高齢化に対応した集落営農体制を築く。また、都市住民との交流事業の実施により、元気と笑顔にあふれた集落の実現を目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

農事組合法人を中心とした営農体制の整備
 地場産農産物の加工・販売
 体験農園の実施

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

高付加価値型農業の実践や都市交流により、地域全体の活性化が図られている。

今後は、加工用野菜の生産拡大や新規園芸作物の導入による法人経営の安定化、機械の大型化に対応するためのほ場整備の実施と法人への農地集積が課題となっている。

また、都市交流活動の発展により新たな所得の確保を目指す。

[平成20年度までの主な成果]

地場農産物の加工・販売

・加工用野菜の作付面積(当初0ha、目標0.05ha、H20実績0.1ha)

農事組合法人を中心とした営農体制の整備

・協定農用地の利用集積(当初0ha、目標12ha、H20実績10ha)

永続的な営農体制確立に向けた施設整備

・農道のコンクリート舗装(目標500m、H20実績300m)

・水路改修の実施、U字溝敷設(目標500m、H20実績300m)

高付加価値型農業の実践

・水稻の減農薬減化学肥料栽培(5割低減)の実施(当初0ha、目標12ha、H20実績10ha)

都市交流の実施

・体験農園の実施(4回実施、のべ40人参加(H20))